

冬期雪氷調査

冬期道路交通の安全を確保するため、 雪や氷の調査を行い対策工に役立てています

北海道の道路は、冬期に入ると「吹雪」による視程障害や「雪崩」による通行規制が頻繁に発生します



道路雪崩



地吹雪による視程障害



吹きだまり障害



雪崩のデブリ

道路雪崩と吹雪による災害事例です。

道路雪崩は、大量の降雪や雪の中に出来た弱層などにより発生しています。

吹雪は、強風を伴う降雪や風により飛ばされた雪粒子により発生します。さらに、吹きだまりを伴うこともあり、交通障害をひきおこします。

雪崩や吹雪を防ぐためには、「雪」や「冬期気象」を調査することが重要となります。

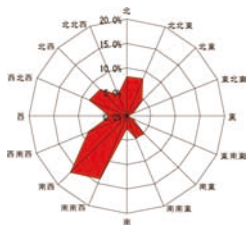
気象観測を行います

道路近傍で気象観測装置を設置し、冬期気象状況を測定します。

風向・風速・気温・積雪深・視程を計測します。

計測結果を分析し、冬期卓越風向や積雪深の傾向、吹雪の量などを抽出します。

分析結果は、道路防雪対策に生かされます。



解析風配図例



定点気象観測事例



株式会社 構研エンジニアリング

〒065-8510 札幌市東区北18条東17丁目1番1号

TEL 011-780-2811 (代表) FAX 011-785-1501 <http://www.koken-e.co.jp>

問い合わせ先 営業部 TEL 011-780-2812



積雪状況や雪の状態を調査します

積雪の層構造や雪質、粒度を観察します

雪の密度・温度・硬度・含水率・積雪深・積雪推量・吹きだまり量などを計測します



積雪断面調査



積雪断面観測



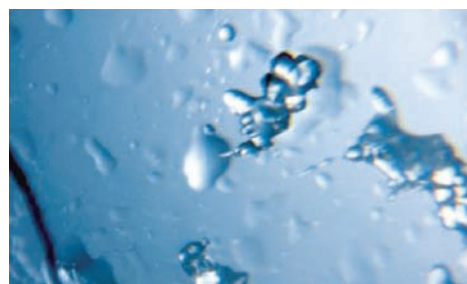
吹きだまり状況



密度測定



雪質・粒度観測



強度テスト



風紋調査

色々な道具をつかいます



調査ピット



密度サンプラー・ゾンテ棒



ビーコン・雪温計



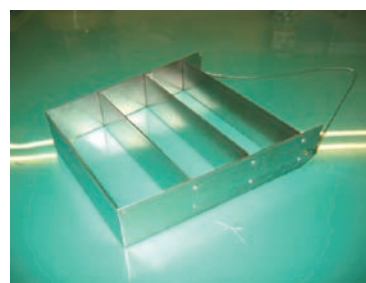
ラム硬度計



密度サンプラー (左)、
スノーサンプラー (右)



雪べら



シアーフレーム